

〒863-0002 天草市本渡町本戸馬場1706-3
 電話番号 0969-22-3668 FAX番号 0969-24-4393
 電子メールアドレス amakusakaho@pref.kumamoto.lg.jp



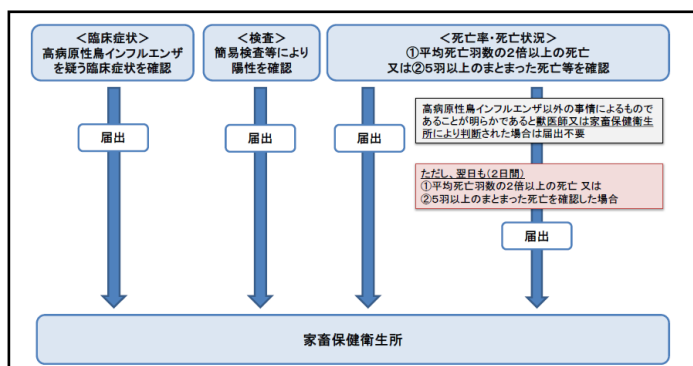
高病原性鳥インフルエンザの対応 についてのお願い

高病原性鳥インフルエンザ（以下、本病）は、昨年度に本県を含む国内9道県12農場で発生が確認されました。加えて、アジアのみならずヨーロッパの国々においても、様々な亜型の本病ウイルスが確認されており、これから、渡り鳥の飛来が本格化する時期を迎えるにあたり、今秋以降の本病ウイルスの我が国への侵入リスクも高いものと考えられています。

本病が万が一侵入した際のまん延防止には、**異常家きん等の早期通報**が不可欠です。その、異常家きん等の早期通報の判断については、以下のとおりとなっています。

1 高病原性鳥インフルエンザ以外の事情によるものか否かの判断については、家畜の所有者のみで行わず、必ず獣医師又は家畜保健衛生所が行います。

2 獣医師により高病原性鳥インフルエンザ以外の事情によるものと判断した場合であっても、翌日も（2日間）平均死亡率の2倍以上の死亡又は5羽以上のまとまった死亡を確認した場合は、必ず家畜保健衛生所に届出ること。



家きんの所有者又は獣医師が異常家きん等を発見した際の家保への届出について

また、異常家きん等の早期通報とともに、本病のまん延防止には、畜産関係者の皆様のご協力による**迅速な防疫対応**が不可欠です。

防疫対応にご協力いただく**畜産関係者の皆様**におかれましては、各職場において、**いつでも連絡が取れる連絡体制の確認**をお願いいたします。

11月は畜産環境月間です

平成16年11月1日の「家畜排せつ物の管理の適正化及び利用の促進に関する法律」施行を機会に、熊本県では11月を畜産環境月間と定めて、畜産環境保全に努めるように呼びかけています。

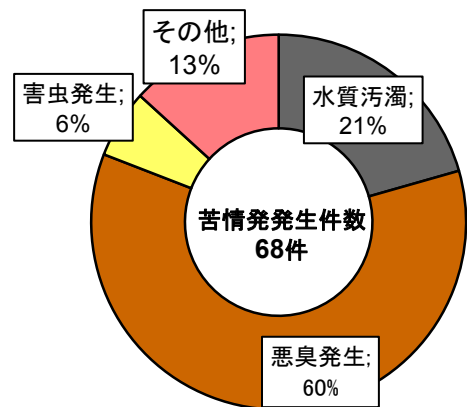
法に定める管理基準の適用を受ける飼養規模は次のとおりです。
牛、馬は10頭以上、豚は100頭以上、鶏は2,000羽以上
これらに該当する方は、次の事項を遵守する必要があります。
なお、管理基準以下の経営においても適正に管理することが必要です。

- ◆堆肥・尿処理施設の床を不浸透性材料(コンクリートやビニールなど)で整備し、堆肥施設等には適当な被覆や側壁等を設けること。
- ◆堆肥処理施設等は定期的な点検、補修、維持管理を行うこと。
- ◆家畜排せつ物の発生量や処理について記録をつけること。

畜産業において、家畜排せつ物の適正な管理は義務であり、地域に理解される畜産経営を目指しましょう。

畜産環境への苦情の半数は、悪臭発生によるものです。悪臭対策は畜舎からのふん尿の早期搬出や畜舎内外の清掃、圃場での散布後の速やかな耕起を行うなど、家畜の飼養・生産に伴う悪臭を防止、低減させる取組が重要です。

県では関係団体と連携して熊本県耕畜連携推進協議会を設置し、家畜排せつ物の適切な管理を通じて生産された、良質な堆肥の情報等を提供するなど、環境保全型農業や耕畜連携を推進しています。詳しくは、協議会HP「くまもと堆肥ネット」をご参照ください。



畜産経営に起因する苦情発生状況
(平成28.7-29.6月)

お問い合わせ先

- お近くの地域振興局農業普及・振興課
- 熊本県耕畜連携推進協議会事務局
096-333-2398(熊本県農林水産部畜産課)
096-328-1025(JA熊本中央会
担い手・法人サポートセンター)

11月は薬剤耐性（AMR）対策推進月間です

家畜（牛、豚及び鶏）の飼養者及び産業動物獣医師の皆様へ
抗菌剤の慎重使用等対策を進め、消費者の信頼に応えましょう！

○ 薬剤耐性菌って？

薬剤耐性菌とは、「抗菌剤が効かない細菌」です。

薬剤耐性菌は、抗菌剤の使い過ぎなどにより増加し、人や動物の治療が困難になります。

○ 薬剤耐性問題と畜産との関わりは？

抗菌剤は、畜産分野でも、動物用医薬品や飼料添加物として使用されています。

家畜への抗菌剤の使用により増加した薬剤耐性菌が、家畜の治療を困難にするだけでなく、畜産物等を介して、人の感染症の治療を困難にすることが懸念されています。

薬剤耐性対策ってどうすればいいの？

→ **獣医師の皆さん**は次の4つのポイントに取り組んで、抗菌剤の“慎重使用”を徹底することが重要です。

1 感染症を予防する



適切なワクチン接種、飼養衛生管理水準の向上（施設内の洗浄・消毒の徹底、十分な飼養スペースの確保等）について指導を行い、感染症を予防しましょう。

2 的確に把握し、診断する



家畜の健康状態、発病後の経過、原因病原体、過去の感染症の発生状況等を把握し、適切に診断しましょう。

3 抗菌剤を正しく選択する



抗菌剤を使用する必要がある場合には、薬剤感受性試験の結果等を踏まえ、抗菌剤を正しく選択し、必要最小限で使用しましょう。

4 情報を共有する



農林水産省が公表する全国ベースの薬剤感受性の状況、地域における感染症の発生状況・薬剤感受性の情報等、薬剤耐性に関する情報を関係者間で共有しましょう。

→ **生産者の皆さん**は次の4つのポイントに取り組んで、抗菌剤の“慎重使用”を徹底することが重要です。

1 感染症を予防する



飼養衛生管理水準の向上(施設内の洗浄・消毒の徹底、十分な飼養スペースの確保、適切な栄養管理等)により、**感染症を予防**しましょう。

2 家畜の状態を的確に把握する



家畜の異変に素早く気付けるように、毎日、飼育する家畜の健康観察を行い、**家畜の状態を的確に把握**しましょう。

3 獣医師に伝える



獣医師が的確に状況を把握し、適切に診断できるよう、発病後の経過、措置の状況、過去の感染症の発生状況等の情報を獣医師に伝えましょう。

4 抗菌剤を正しく使用する



抗菌剤は獣医師からの指示に基づき、用法・用量、使用禁止期間等を守って**正しく使用**しましょう。

※詳細は、農林水産省HP

(<http://www.maff.go.jp/j/syuan/tikusui/yakuzi/koukinzai.html>) に掲載しています。

農林水産省 抗菌性物質

検索

海外悪性伝染病発生状況

| 病名 | 発生地 | 発生日 | 畜種 | 型 |
|------------------|------|--------------|--------|------|
| 口蹄疫 | 中国 | ～平成29年9月24日 | 牛・山羊・豚 | O型 |
| | ロシア | ～平成29年10月9日 | | O型 |
| アフリカ豚コレラ | ロシア | ～平成29年10月20日 | 豚・いのしし | |
| 高病原性 鳥インフルエンザ | ベトナム | 平成29年8月24日 | 家さん | H5N1 |
| | | 平成29年9月23日 | | H5N6 |
| | 中国 | 平成29年10月11日 | | H5N6 |

平成29年10月23日時点

通報

家畜の異常を発見された場合はご連絡ください。

熊本県天草家畜保健衛生所 電話番号0969-22-3668

毎月20日は「くまもと家畜防疫の日」

